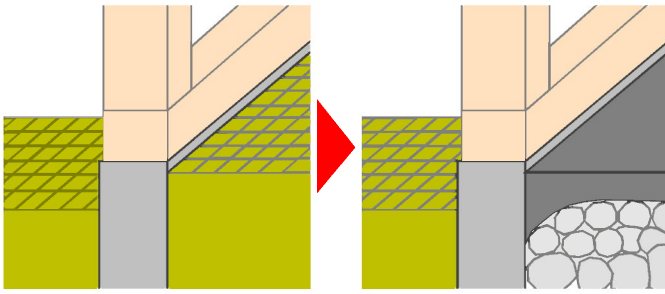
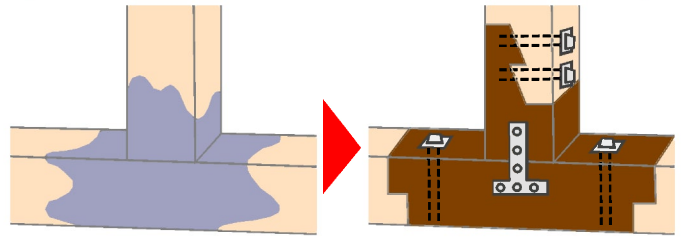


基礎の補強



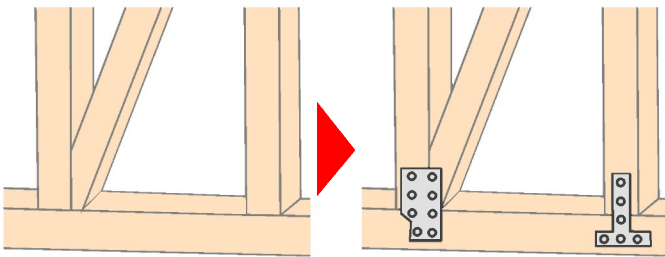
古い無筋コンクリートの独立基礎は、コンクリートで基礎を一体化したり、増し打ちしましょう。また、クラックなどは、専用の注入剤で補修します。

傷んだ部材の補修



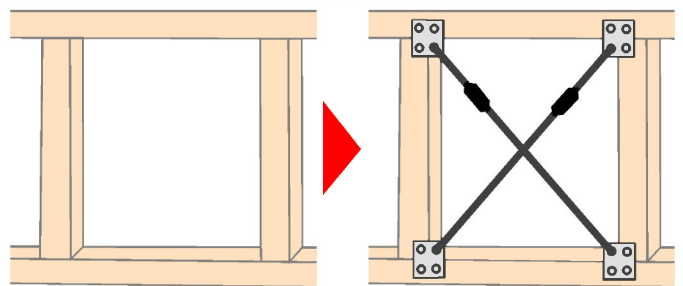
湿気やシロアリによって柱や土台、梁などが腐朽した場合は、その部分を取り替えます。この場合、防腐措置を必ず行いましょう。

足元や接合部の補強

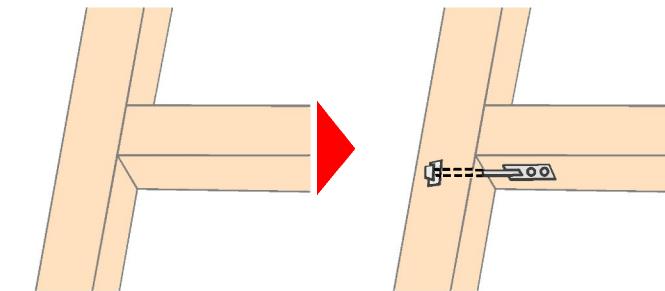


柱が引き抜けないように金物を取り付けて、柱を土台に固定し、足元部分を強固にしましょう。

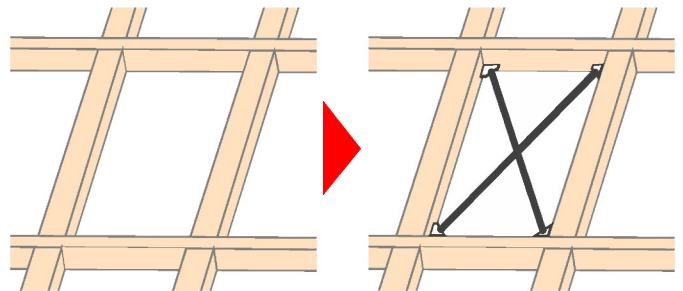
壁や床面の補強



柱と横架材の接合部に金物を取り付けブレースをかけます。

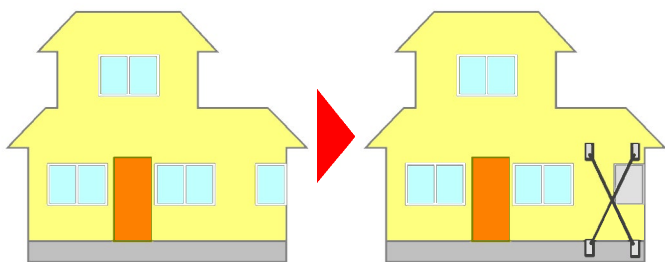


古い住宅の場合、接合部に金物が使われていないことが考えられます。木材の抜けを防ぐために、接合部を金物で補強しましょう。



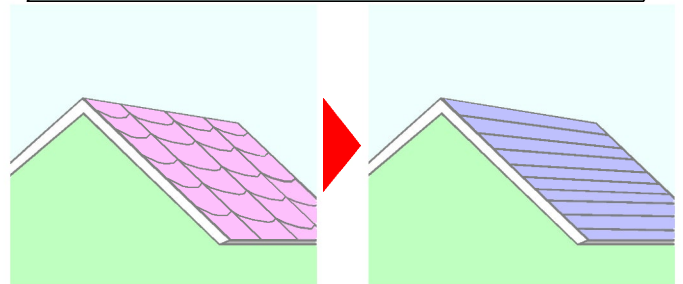
床面の補強は、耐力壁と同じように横架材の接合部に金物を取り付けてブレースをかけます。

外壁の補強



外壁をはがさずに、外壁側から鉄筋ブレースや鋼材で壁を補強します。また、隅部を壁にすると一層効果的になります。

屋根葺材の交換



重い屋根葺材は、建物に負担がかかります。軽量で丈夫なものに取り替えるか、耐力壁による補強で耐震性を強めましょう。